

Ⅰ 教育目標

＝共に学び 共に育ち 共に生きる＝

「主体的に学び、よく対話し、他者を理解し、よりよい社会づくりの担い手となる人の育成」

- ◎自らの人間性を豊かにし、人権を尊重し、社会の矛盾を許さない生徒の育成。
- ◎学習に喜びをもち、自己教育力の伸長と正しい判断力、行動力のある生徒の育成。
- ◎平和を愛し、勤労を尊び、健全で実践力のある生徒の育成。

Ⅱ 教育方針

憲法と教育基本法の精神を尊重し、地域社会の期待と信頼に応えるため、あらゆる教育活動を通じて、自己実現に向け「確かな学力」を培い、豊かな人権感覚と実践力に富む生徒の育成をめざす。

めざす生徒像

- ・自ら学び、自ら考え、たしかな学力と実行力を身につけた生徒
- ・心豊かに成長し、自分・仲間・社会を大切にする生徒
- ・コミュニケーション力を身につけ、未来で、社会で活躍できる生徒

めざす学校像

- ・一人ひとりを大切にし、集団として高め、自信を育てる学校
- ・変化する社会で生きるための力を身に付け、自ら学ぶ生徒を育てる学校
- ・「レベルアップ・マナーアップ・パワーアップ」を合い言葉に、未来の担い手を育てる学校
- ・笑顔あふれる「街の学校」School Network
＝保護者や地域からの信頼に応える開かれた学校

めざす教職員の姿勢

- ・一人ひとりの良さや可能性を見つけ、全ての生徒を伸ばすことができる教職員
- ・広い視野と先を見通す力を持ち、細やかな心配りができる教職員
- ・学び続ける姿勢を持ち、目標達成のために明るくすすんで行動できる教職員
- ・生徒・保護者・地域から信頼される教職員
- ・カウンセリングマインドを根幹とした教育相談・保護者対応ができる教職員

Ⅲ 努力目標

1. 学校運営について

安心して通い、生徒も教職員も成長できる学校を目指し、全教職員が共通理解のもと、確固たる協力体制で学校運営にあたる。

- 服務規律を確立し、教職員としての資質と指導力の向上に努める。
- 施設・設備の整備と美化を徹底させ、学びに相応しい安全で美しい環境づくりに努める。
- 地域人材等の幅広い活用を図り、教育活動の充実に努める。

2. 人権教育の推進について

教育目標「共に学び 共に育ち 共に生きる」を基本理念とし、支え合い助け合う望ましい集団づくりを通して豊かな人権感覚を育む。

- 高い人権意識を持った集団づくりを基盤にした教育の実践と研修を図る。
- いじめや差別を絶対に許さない姿勢で臨み、平素から未然防止・早期発見・早期対応に務める。
- 長欠・不登校生徒への対応を強化し、生徒一人ひとりの情報の共有と、個に応じたきめ細かい指導を行い自己実現を図る。

3. 学習指導について

全ての生徒が、学ぶ意味を理解し、学ぶ楽しさを実感しながら「確かな学力」を身につけ、自分で学ぶ力や生涯にわたり意欲的に学ぶ態度を育成する。

- 生徒にとって「わかる授業」のための思い切った授業改善と挑戦
- 授業における効果のある指導と評価のあり方（一中スタンダード）の研究・実践する。
- 自立した学習者をめざし、学習と評価 NAVI とフォーサイトを活用した生活向上・学びのレベルアップを図る。
- 「美しい学校」を目指し清掃の徹底と掲示物の充実を図り、学ぶに相応しい学習環境の向上に努める。
- 学力向上をめざし、小中学校間での交流を密にし、一貫教育のカリキュラム開発を充実させる。

4. 道徳並びに特別活動について

全教育活動を通して道徳教育の指導・実践に努めるとともに、コミュニケーション力を身につけ、社会で活躍できる生徒を育成する。

- 学校行事や、生徒会活動・学級活動等を通して、互いを認め合い・助け合い・支え合う集団をつくり、生徒が自らの手で学校生活をより豊かにできるよう指導・支援する。
- 発達段階や実態に応じた指導計画と効果的な指導により道徳的実践力の育成を目指す。
- 部活動の充実に努め、心身の健全な発達を促進する。
- ディベート等を取り入れた「PUT タイム」（水6）の実施と教科指導、特別活動における言語活動の活性化を図り、「考える力・伝える力」の伸長を目指す。

5. 生徒指導について

一人ひとりの生徒の人格を尊重しつつ、信頼関係を構築し、個性の伸長と心身の健全な育成を図る。

【生徒指導は生徒理解に始まり生徒理解に終わる】 【見る努力、見つける鋭さ、指導の素的確さ】

- 生徒理解を深め、学年を越え、全教職員で粘り強く取り組む生徒指導体制を確立する。
 - ・生徒の変化を見逃さず、生徒の変化に即応できる生徒指導体制
 - ・PBIS 研究や肯定的な声かけを積極的に行い、一人の生徒に多くの教職員が関わる指導（褒める指導）
- カウンセリングマインドを根幹とした教育相談・保護者対応機能を高めながら、「我慢する」「時間やルールを守る」等、<心を鍛える>ための取り組みを推進する。
- 「地域ぐるみの子育て」の視点から、家庭・地域・関係諸機関との連携を深め、基本的な生活習慣の確立と、求められる生徒像（指導六項目）へ高める指導を推進する。
- 小中一貫のきめ細やかな継続指導をもとに、SC活用や「ケース会議」「子ども支援会議」等を実施する。

6. 保健安全指導について

健康な心身の成長と自己管理能力の育成を図りながら、自尊感情を高める。

- 個々の生徒の心身に関する情報の共有と共通理解のもとで、健康管理等についての指導力の向上を図る。
- 環境の整備及び安全対策に努めると共に危機管理体制の確立を図る。
- 全学年で体力テストを実施し、実態把握と、改善への取り組みを推進する。
- 食育の推進と健康やいのち大切さを学ぶ機会や体験を計画・実施し、ストレスマネジメントの向上や、自尊感情や自己健康管理能力を高める。

IV 今年度の重点目標

自ら学び、自ら考え、たしかな学力と実行力を身に付けた子どもを育てるために

一中スタンダードの構築と実践

- ・聴いて考えてつなげる授業の実践と研究 (PUT の課題)
- ・「確かな学び」をはぐくむ授業力向上と指導力向上(教科の情報交換・研究授業・公開授業・校外への発信)
「わかる授業」のための思い切った授業改善と挑戦
- ・全学年・全授業で「授業の構造化」をめざす教科横断的な学び
「課題提示」「個人学習」「交流」「確認問題」「熟考」「自己評価」という流れを明確に
- ・カリキュラム・マネジメントの意識を
小から中へのつながりや教科間のつながりを知り、小中一貫のカリキュラム開発
- ・自律した学習者を育てる
学習と評価 NAVI とフォーサイトを活用した生活向上・学びのレベルアップ

心豊かに成長し自分・仲間・社会を大切にする子どもを育てるために

- ・道徳教育の充実
これまでの取組を大切に、深化させて次へつなぐ
- ・高い人権意識を持った教職員集団、生徒集団に
いじめや差別を絶対に許さない姿勢を 心を動かす人権学習を(体験学習の充実)
- ・全学行事および学年や学級活動に対して、達成感と充実感を
互いを認め合い、助け合い、支え合うことのできる集団づくりを
- ・統一した生徒指導と予防的・開発的生徒指導
どの先生も同じ指導を 様々な生徒の活躍の場をつくるしかけを

コミュニケーション力を身につけ、未来で、社会で活躍できる子どもにするために

- ・ディベート等を取り入れた言語活動の充実
考える力・伝える力の育成 (一中校区全体のテーマ)
生徒にソーシャルスキル力をつける手段として効果的に活用を
「PUTタイム」水曜日 6 限(思考の活動を顕在化させる)
- ・穏やかな心で自分をコントロールする健康な心
セルフディフェンス力の向上と、食育の推進。健康やいのちの大切さを学ぶ機会や体験を
- ・健康な体と体力向上
「運動好きな生徒」の育成。適正な時間で効果のある活動を生徒とともに考える

「POSITIVE UP TEAM 1」

合い言葉は ⇒ ^{PUT} ^{UP} PUT1 進化(深化)を目指そう!

笑顔あふれる「街の学校」 School Network

=POSITIVE UP TEAM1=

テーマ 自立型人間の育成（生きる気力を生み出す教育）

「先から今を見る力をつける」

（夢を持ち目標を実現するための行いを心がける）



未来の自分をつくろう



（社会で活躍できる（通用する）スキルを身につける）

レベルアップ ・ パワーアップ ・ マナーアップ

かしこさ ・ たくましさ ・ やさしさ

① 当たり前のことをきちんとしよう（前向きな態度）

○ **遅刻ゼロ・掃除励行・挨拶先手**

～時間を守る、場を清める、礼を正す～

② 考える力をつけよう（深く考える）

○ **自分の夢を持ち、それに向かって学ぶ**

～意欲的に、主体的に、正しく行動～

③ 思いやりの力をつけよう（他者の尊重）

○ **認め合い、助け合い、支え合う**

～道徳、行事活動、地域連携～